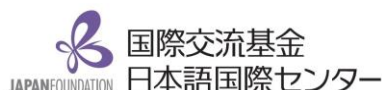


学習を評価する

Unit 2 実践編 Part 2 読解力を測るテスト



はじめに

このパートでは、運用力を測るテストのうち、「読解力を測る到達度テスト」を取り上げます。

読解力を測るテストを作る^{てじゅん}手順を理解し、測りたい力に合わせた問題の作り方を確認しましょう。

◇ 読解テスト作りの手順

1. 目標を確認する 2. 文章を準備する 3. 問題と解答を準備する

手順1. 目標を確認する

読解のテストを作成する前に、まず行うことは、授業の目標を確認することです。

成人^{せいじん}の学習者^{たいしゅう}を対象にした「青空コース」を例に見てみましょう。青空コースは『まるごと

日本のことばと文化 初中級 A2/B1』を使って読解の力を伸ばすコースです。大きなコース

目標のもと、各授業の目標を^{ぐたいてき}具体的に^{せってい}設定しています(表1)。これらを見て、コースで目標と

する文章の種類とトピック、そして読む目的を確認しましょう。

読解コースの目標	身近なことについての記事を読んで、大事な情報を理解することができる。
授業1の目標	サイトの記事から、結婚する二人がどんな結婚式にしたいか読みとる。
授業2の目標	結婚について調べた結果から、大事なポイントを理解する。
授業3の目標	悩み相談のサイトの記事から、内容と相談している人の気持ちを読みとる。

表1 青空コースの目標

【タスク1】表1に書かれた目標から、青空コースで読む文章の種類・トピック・読む目的を

下の表にまとめてください。これが作成するテストの条件になります。

文章の種類	
トピック	
読む目的	

手順2. 文章を準備する

コースの終わりに行う到達度テスト、つまり目標の達成度を測るテストを作ります。そのためには、テストで使う文章を準備しなければなりません。

1) どのような文章を使うか

テストではどのような文章を使っていますか。「到達度を測るテストでは、授業で読んだ文章をそのまま使った方がいいのか？」という疑問を持つ先生も多いと思います。そこで、テスト

で測りたいのは学習者のどんな力なのか、もう一度考えてみましょう。

読解のテストで測りたい力は「文章の種類と目的に合わせた読み方で内容を理解する力」です。前述の青空コースでは「身近な^{ぜんじゆつ}ことについての記事を読んで、大事な情報を理解する」という目標が達成できるかどうかを測らなければなりません。もしも、授業で読んだ文章をテストに出したらどうでしょうか。文章の内容や、問題に対する答えを覚えていたら、記憶力を測るテストになるおそれがあります。つまり、授業で^{すて}既に読んだ文章をテストに出すと、妥当性と信頼性のないテストになってしまうのです。

【タスク 2】 今まで行っていた読解テストの文章は、どのように準備していましたか。また、何を重視して準備していましたか。思い出して書いてください。

2) 授業で読んだ文章の分析

表 1 で確認したとおり、青空コースではコース目標を達成するために、各授業で様々なトピックの文章を取り上げて、大事な情報を読みとる力を身につけていきます。ここでは、授業2で読んだ文章を分析し、それと似た文章をテスト用に準備するという方法を見てみましょう。

次の文章 A は授業 2 で使われたものです。授業 2 の目標は「結婚についてしらべた結果から、だいたいなポイントをりかひする」ことですので、文章 A を読む目的は「大事な点を理解すること」です。

文章 A

20 代、30 代の男女への最近のアンケートによると、結婚相手と知り合ったきっかけで一番多いのは、職場での出会いです。次に多いのは、友達の紹介、そして学校での出会いです。近ごろはインターネットで知り合って結婚する人もいます。

結婚を決めた理由は、女性のはあい「家族とのつき合いやお金についての考え方が似ているから」、男性のはあい、「いっしょにいてほっとするから」が一番多いです。

女性も男性も、価値観がにている人や自分とせいかくが合う人と結婚したいと思っています。

『まるごと 日本のことばと文化 初中級』トピック 6 より

【タスク 3】 文章 A を分析し、下表に記入してください。

読む目的	大事な点を理解すること
文章の種類	
文章のトピック	
長さ(文字数)	
構成	
読み手(誰が読む文章か)	

文章のトピックは結婚です。青空コースの対象は成人ですから、結婚は学習者が関心を持ちやすい、身近なトピックだと言えます。特別な知識は要らないという点は、読解テストでは大切なポイントです。長さは約 250 字です。構成は「アンケート結果の説明」⇒「結婚を決めた理由」⇒「アンケート結果の^{かいしゃく}解釈」となっています。また、この文章は、日本語を学習している人のために書かれていますので、語彙・表現・文法は、身近な話題についての簡潔な記事に使われるレベルのものが選ばれていて、JF 日本語教育スタンダードの B1 程度だと言えます。

以上のような特徴を持った文章を、到達度テストのために新たに用意します。

【タスク 4】 テストのためにどんな文章を用意しますか。考えて作ってください。

3) 文章の作成

下の 文章 B は、文章 A を参考にしてテストのために作成したものです。この文章を読む目的は、授業と同じく、大事な点を理解することです。

文章 B

東京のある会社で働く、20代の独身の男女へのアンケートによると、希望する結婚式の形で一番多いのは、家族だけで集まる食事会、そしてカップルだけで旅行に行くという答えです。近ごろは、何もしない人も増えています。

結婚式でしたいことは、女性のばあいは「記念に残る写真をとること」、男性のばあいは「お金を使いすぎないこと」が一番多いです。

女性も男性も、自分たちの^{かちかん}価値観を大切にして結婚式をしたいと思っています。

テスト用に作った文章 B の文章の種類、長さ、読み手は、授業で読んだ文章 A と同じです。なお、テストで読む文章の長さは、授業で読んだ文章と同じぐらいのものが適切です。

文章 B の内容は「希望する結婚式についてのアンケート結果」です。これは、青空コース全体の目標「身近なことについての記事を読む」に合っていて、トピックも「身近なこと（結婚）」です。この例のように、授業で読んだ文章と同じトピックで、内容は少し変えて、到達度テスト用の文章を用意することができます。

構成は「アンケート結果の説明」⇒「結婚式での希望」⇒「アンケート結果の解釈」となっていて、授業で読んだ文章 A とよく似ています。

使われている文型、語彙、文法項目は、授業で読んだ文章 A で使われたものを含んでいて、B1 程度のレベルで読めるようになっています。授業で学んだ言葉が使われた文章なら、授業で学んだことができるようになっているかどうかを確かめられ、到達度テストにふさわしい問題にすることができます。

なお、これはテストのための文章ですが、内容が事実とかけはなれていないか、うそを書いているか、作る時によく確認しましょう。

【タスク 5】 下の文は、読解テスト用の文章を準備する手順を説明したものです。選択肢か

らあてはまる言葉を選び、空欄^{くうらん}を補ってください。

選択肢： 内容 ・ トピック ・ 文章の種類 ・ 長さ ・ 読み手 ・ 構成

- ① 授業とコースの目標を確認する。
- ② 授業で読んだ文章を分析する。例えば()、()、()、
()、想定される文章の()、文章で使われている語彙・表現・文法の
レベルなどを確認する。
- ③ ②を参考にして()を少し変えて、文章を作成する。
- ④ 文章に、事実と違うことが書かれていないか、確認する。

手順3. 問題と解答を準備する

読解力を測るテスト問題は、目標を達成しているかどうかを測るために作るものです。テストで測る力を、「部分を理解する力」「全体を理解する力」に分けて考えます。部分を理解する力というのは、特定の情報を正確に理解する力で、テキストの狭い範囲^{せま}を理解する力です。一方、全体を理解する力は、話の流れや、大意^{たいい}を理解する力です。答え方も、いろいろな方法があります。

1) 部分を理解する力を測る問題

p.5で見た文章 B の理解を測る問題の例を見てみましょう。

【1】アンケートに答えたのは誰ですか。

()

【2】最近、増えているのはどんな人ですか。

()

a. 家族で集まる b. 何もしない c. 旅行に行く

【3】正しい答えに○をつけてください。

a. お金がかかるので旅行に行かない人が多いです。

b. 女性は、記念に残る結婚式がしたいです。

c. 自分たちの考えを大事にしているカップルが多いです。

文章 B

東京のある会社で働く、20代の独身の男女へのアンケートによると、希望する結婚式の方法で一番多いのは、家族だけで集まる食事会、そしてカップルだけで旅行に行くという答えです。近ごろは、何もしない人も増えています。

結婚式でしたいことは、女性のばあいは「記念に残る写真をとること」、男性のばあいは「お金を使いすぎないこと」が一番多いです。

女性も男性も、自分たちの価値観を大切にしたいと思っています。

【1】は、部分と全体と、どちらの理解を確認する問題でしょうか。【1】は文章の中にある「東京のある会社で働く、20代の独身の男女へのアンケート」という特定の部分を理解して答える問題です。少し複雑で長い文の構造を理解しなければなりません。答えは「東京のある会社で働く、20代の独身の男女」です。

【2】も「近ごろは、何もしない人も増えています」という特定の文が理解できれば答えられる問題です。【3】は内容を言い換えた選択肢、a~cの正誤を確認するために、文章の中の特

定の文を理解する必要がある問題です。これも文章の部分の理解を測る問題です。

2) 全体を理解する力を測る問題

文章の大意や流れを理解する問題を見てみましょう。

【1】文章のタイトルを選んでください。

a. 結婚式 b. 独身 c. 記念

【2】文章の構成を表すよう、1と2に当てはまる選択肢を選んでください。

1 () → 2 () → 3 結果から言えること

a. 写真のとり方 b. 式の形 c. したいこと

【3】(①)に当てはまる文を選んでください。

a. 結婚式の食事はよく考えて用意したいと思っています。

b. お互いの考え方が違うことは問題だと思っています。

c. 価値観を大切にしたいと思っています。

文章 B

東京のある会社で働く、20代の独身の男女へのアンケートによると、希望する結婚式の方法で一番多いのは、家族だけで集まる食事会、そしてカップルだけで旅行に行くという答えです。近ごろは、何もしない人も増えています。

結婚式でしたいことは、女性のばあいは「記念に残る写真をとること」、男性のばあいは「お金を使いすぎないこと」が一番多いです。

女性も男性も、(①)

【1】は、文章のタイトルを答えさせる問題ですが、タイトルを考えるためには、文章の中のキーワードが何かを読み取り、文章の大意を理解していなければなりません。

【2】は、文章の構成を考えさせる問題です。どんな内容がどんな順番で書かれているか、という話の流れは、文章全体を読んで理解する必要があります。こうした問題は、前に見た、文章の部分を読んで答える問題に比べると難しいですが、実生活では必要な力です。

【3】は、最後の文を選ぶ問題ですが、正しい答えを選ぶためには文章全体を読んで、アン

ケートの結果を理解し、^{けつろん}^{すいそく}結論を推測する必要があります。

このように、問題の作り方によっても、測る力が変わることにも注意しましょう。

答え方にも選択式と記述式の2種類があります。選択式の問題では、学習者は正しく答えるために選択肢の日本語を理解しなければなりません。ですから、選択肢が難しすぎて正しい答えを選べない、ということがないように注意しましょう。記述式の場合は、日本語で書く力を測ることにならないように、採点基準を作り、信頼性を高める必要があります。

【タスク 6】 測りたい力と、問題の作り方を表 2 に整理しましょう。適当な言葉を下のから選んでください。

- a.内容を言い換えた文の正誤を考えさせる b.タイトルを考えさせる c.結論を推測させる
d.構成を考えさせる e.情報についての質問に答えさせる

測りたい力		問題の作り方	答え方
A. 部分を理解する力	特定の情報の正確な理解や、 テキストの狭い範囲の理解	(①)	選択式 記述式
		(②)	
B. 全体を理解する力	・大意の理解	(③)	
		(④)	
		(⑤)	
	・話の流れの理解		

表2 問題の作り方

まとめ

読解の授業の目的は、学習者が読む力を伸ばすことです。読解の到達度テストでは、授業で身につけた力を使って、他の文章を読むことができるかどうかを測ります。そのため、読解のテストを作る時は、まず学習目標を確認し、その達成度を測るための問題を作る必要があります。授業で読んだ文章はテストでは使えませんが、その文章を分析し、トピックや長さ、構成、読み手は同じような文章で、内容は違うものを準備しなければなりません。そして、測りたい読みの力（文章の部分を正確に理解する力なのか、大意や流れを理解する力なのか）に合わせて問題と解答作成します。

■ このパートの参考文献と参考サイト

- 国際交流基金（2011）『学習を評価する』（国際交流基金日本語教授法シリーズ 12）ひつじ書房
- 国際交流基金（2015）『まるごと 日本のことばと文化 初中級 A2/B1』三修社
- 関正昭・平高史成編（2013）『テストを作る』スリーエーネットワーク

■ タスクの答え

【タスク 1】

文章の種類	記事(サイトの記事、アンケート)
トピック	身近なこと(結婚、悩み相談)
読む目的	大事な情報を理解すること

【タスク 2~4】 省略

【タスク 5】

- ① 授業とコースの目標を確認する。
- ② 授業で読んだ文章を分析する。例えば(文章の種類)、(トピック)、(長さ)、(構成)、想定される文章の(読み手)、文章で使われている語彙・表現・文法のレベルなどを確認する。
- ③ ②を参考にして(内容)を少し変えて、文章を作成する。
- ④ 文章に、事実と違うことが書かれていないか、確認する。

【タスク 6】

測りたい力		問題の作り方	答え方
A. 部分を理解する力	特定の情報の正確な理解や、テキストの狭い範囲の理解	①② a.内容を言い換えた文の正誤を考えさせる e.情報についての質問に答えさせる	選択式 記述式

B. 全体を理 解する力	・大意の理解 ・話の流れの理解	③④ b.タイトルを考えさせる c.結論を推測させる ⑤ d.構成を考えさせる	
--------------------	------------------------	--	--